

基調講演 1: 平田 オリザ (劇作家・演出家・青年団主宰。こまばアゴラ劇場芸術総監督・城崎国際アートセンター芸術監督)

「演劇と対話」要旨

昨今、コミュニケーション能力、コミュニケーション教育という言葉が、いささかヒステリックなほどに叫ばれています。では、そこで言われているコミュニケーション能力とはなんでしょう？この講演では、「はい、子どもの頃からコミュニケーション能力をつけましょう！」ということではなく、そこで使われている言葉の本質について考えたいと思います。

まず私が普段初等教育で行っている演劇の授業の一例を紹介し、そこから「対話」をキーワードに議論を進めたいと思います。なぜ演劇には対話が必要なのか、あるいはなぜ演劇を学ぶことが、対話を学ぶことになるのかを考えていきます。

演劇と哲学は、2500年前、ほぼ同時期に誕生しました。コロナ禍を振り返りながら、民主主義を支えるための、この二つの営みについて考えていただく講演になればと願います。